

質問 和田議員（自民・岐阜市）令和7年12月10日（水）

1 名古屋港へのアクセス向上を生かした企業誘致について

答弁 知事

岐阜県は日本の中央に位置し、東西南北を結ぶ優れた交通網に加え、西濃地域の豊富な水、東濃地域の強固な地盤、津波被害のリスクが低い安全な地勢など、企業立地に関して大きな強みを有しております。また、名古屋港を含む中部エリアへのアクセスの良さも本県の強みの一つであることから、これらが好調な企業立地につながっているものと認識しております。

さらに、今後、東海環状自動車道が全線開通することにより、三重県と初めて高速道路で直接つながり、四日市港をはじめとして伊勢湾へのアクセスが飛躍的に向上します。

三重県方面への人・モノの輸送に係る時間が短縮されることで、物流、観光、防災など様々な効果が期待できます。物流面では、コストと時間が削減され、例えば、伊勢湾で水揚げされた魚介類を、その日のうちに海なし県の岐阜県で手に入れることができるようになります。また、観光面では、大型クルーズ船からの誘客を踏まえた新たな広域観光ルートの形成も想定されます。

さらに防災面では、今後発生が危惧される南海トラフ地震においても緊急輸送道路としての役割や県を超えた広域支援、被災者の受入れにおいての効果が期待されます。

これらに加え、三重県沿岸部に立地する工場のリスク分散として、県内の西回り沿線に工場が再配置されることが想定され、四日市の工業地帯と一体となった新たな経済圏の形成も期待されます。

今年度、東海環状自動車道西回り沿線市町においては、県内の半導体メーカーと首都圏の食品企業の操業が開始されたところでございます。現在も、全線開通を見据えて、県外の食品企業やものづくり企業から、多くの関心が寄せられております。

今後は、事業者に対し、農地転用への配慮や工場の緑地面積率の緩和といった特例が受けられる地域未来投資促進法などの活用を視野に、操業に至るまで切れ目のない支援を行ってまいります。

また、この地域の強みである豊富な水や湾岸地域への利便性を生かして、意欲ある市町村とともに、食料品製造業や半導体、データセンターなど、産業集積に取り組んでまいります。

担当課 企業誘致課

電話番号 058-272-8371

メール c11342@pref.gifu.lg.jp